

a 学校教育目標	よく学び 心豊かで 元気な子	b 経営理念 ミッション・ビジョン	【ミッション】(自校の使命) 自分を愛し、夢を語る児童の育成 【ビジョン】(自校の将来像) ○確かな学力をつける学校○質の高い教職員を育てる学校○保護者・地域とともに歩み、信頼される学校
----------	----------------	----------------------	--

評価計画				自己評価					改善方針	I 学校関係者評価				
c 中期経営目標	d 短期経営目標	e 目標達成のための方策	f 評価項目・指標	g 目標値	10月	2月	i 達成度	j 評価	k 結果と課題の分析	改善方針	評価			コメント
					h 達成値	h 達成値					イ	ロ	ハ	
確かな学力の育成	◎基礎・基本の定着を図る。	○算数科を中心に言語活動を取り入れた単元構成の工夫と授業改善を行う。 ○繰り返し練習による学力の定着を図る。 ○帯タイムなどによる個別指導の徹底を図る。 ○辞書活用による語彙力を向上させる。	・[基礎・基本]定着状況調査において通過率80%以上、通過率30%未満の児童の割合0%にする。 ・期末テスト(国語・算数)において75点以上の児童が70%にする。 ・標準学力調査で全国平均を上回る児童の割合を70%以上にする。 ・国語辞書による語句調べにおいて、1年50、2年150、3年250、4年400、5年500、6年600以上調べる。	80% 70% 70%										
豊かな心の育成	○「いじめ」の発生件数をゼロにする。 ○「挨拶」「返事」「靴そろえ」の定着を図る。	○「学校いじめ防止基本方針」「いじめ防止委員会」による組織的な取組を行う。 ○ 価値や意義について学級指導をする。 ○ 挨拶・掃除・靴そろえのモデル化を図り徹底する。 ○ 定期的な点検と評価を行い習慣化させる。	・「いじめ」の発生件数0 ・「挨拶」「返事」ができる児童の割合 ・「靴揃え」ができる児童の割合	100% 90% 95%										
健やかな体の育成	○体力・運動能力の向上を図る。	○柔軟性・瞬発力・走力を向上させるためのサーキットトレーニングを行う。 ○本校の課題である柔軟性・瞬発力・走力を向上させるための体育授業前の準備運動を取り入れる。	・柔軟性・瞬発力・走力において昨年度より向上した児童の割合 ・サーキットトレーニングの自己目標を達成した児童の割合	80% 85%										
信頼される学校	○情報を公開し、学校に対する理解度・信頼度を高める。	○ホームページの更新や学校だより、学級通信の発行を月1回以上行う。 ○年間3回の学校関係者評価を実施し、客観的な評価と改善を行う。 ○ 服務研修を月1回以上実施する。	・保護者・地域の学校に対する理解度・信頼度 ・学校関係者評価者の肯定的評価	90% 90%										

本年度の重点目標については◎印で示す。

【j:自己評価 評価】
A:100≦(目標達成) B:80≦(ほぼ達成)<100

【I:学校関係者評価 評価】
イ:自己評価は適正である。ロ:自己評価は適正でない。
ハ:分からない。